

機能訓練指導員のご紹介

理学療法士 小島理瑚 (こじまりこ) 先生

藤田保健衛生大学（現藤田医科大学）リハビリテーション学科 卒業
病院・施設等のリハビリ経験後、当施設、1日型の通所介護/機能訓練指導員として入職

前職が施設勤務とのことで、先生からは『今は1日が秒で過ぎていきます』とコメントあり。
通所介護の目的は在宅生活の継続であります。お一人お一人に正しい生活動作を身につけていただき、自立性の確保と転倒しない体づくりを目指しています。

その為に、訓練指導員への要求は様々、骨折後・脳梗塞発症後・呼吸器不全・心房細動等既往症も多岐にわたります。そこで個々の目標を更に深掘し、一番不安である部位への強化を実施するために、必要な個別のメニューを組んでいます。

その上で、運動機能及び身体機能の状態を確認、初回の数値を基準とし、要介護は3ヶ月に1回、要支援は毎月、評価を実施。維持・向上できているか、次の課題は何か、などを再検討しています。また、月毎の状態を評価し、個々の担当者様へ報告を実施。訓練士による報告書を作成していきます。ですから、小島先生のデイ内・単独移動は、階段を駆け上がり、飛び回り、毎日瞬間移動の日々となっております。スポーツ万能で、バスケットボール、軟式野球、ソフトボールにサッカー、スイミングetc...と経験してきた先生ですが、90歳～100歳のご利用者様からの『転びたくない！健康でありたい、鍛えたい！』などの強い気持ちとひたむきな姿勢に、日々、感動をいただいているとのこと。そして、皆様の個々の思いに寄り添い、皆様が自宅で安心して過ごせるよう、日々の状態変化に留意し、機能向上に努めていきたいとコメントされています。

プライベートでも、日々鍛錬されており、大学時代から趣味で始めたボルダリングを現在も継続、わざわざ！険しい過酷な壁をよじ登るといったスポーツに参加されており、その中で、4年前からは視覚障害者の方のクライミングに心奪われ、サイトガイドに携わることに。健常者でも容易ではないスポーツ。視力が無い中、恐怖を超えて頂上を目指す姿に衝撃を覚える。NPO法人モンキーマジック管轄、愛知支部『尾張でらモンキー』にスタッフとして所属し、現在2025年に開催される世界選手権に向けて、代表選手と共にJAPANのユニフォームを着用し、日々奮闘中です。その向こうには、追加種目として決定された2028 Los Angeles パラリンピック/クライミングのJAPAN代表権を目指し、選手の目となり、日々サポート力に磨きをかけているとのこと。先の目標が大きくなり大変ですが、ぜひ頑張っていたきたいです。先生の活動に夢を乗せて、デスタフ一同、応援しています。

最近の成績

2023/8月：パラクライミング世界選手権大会（スイス）青木選手・前岡選手サイトガイド出場 前岡選手/銀メダル獲得

2024/3月：パラクライミングジャパンシリーズ日本選手権大会 青木選手・前岡選手・栗屋選手サイトガイド出場

クラス別/3選手優勝/パラクライミング2024年度 日本代表に選出

2024/10月：パラクライミングジャパンシリーズ第1戦（鳥取・倉古大会）青木選手サイトガイド出場 B2/優勝

直近の予定：2025/3月 パラクライミング日本選手権（神奈川・泰野大会）

※日本パラクライミング協会 <https://www.jpca-climbing.org/>

NPO法人モンキーマジック <https://www.monkeymagic.or.jp/> >> 障害者クライミングの普及・サイトガイドの普及他

尾張でらモンキー Instagramにて情報発信中； 興味のある方、アクセスお待ちしております！



資料：『尾張でらモンキー』HPより

photo by ;
Saki Aoyama/
RIDGELINE WORKS



photo by ; Katie Jo Myers
スイス世界選手権



かいせいデイサービス機能訓練の内容

関節は動かさないと動きづらくなり、骨も刺激を与えなければ衰えていきます。かいせいデイサービスでは、訓練士による運動療法や手技療法等を通して、現存機能の維持・向上を目指し、動ける体づくりをしていきます。

運動療法 物理療法

上下肢筋力向上訓練、関節可動域向上訓練、起立訓練、歩行訓練、バランス訓練、重錘トレーニング、階段昇降訓練、ボール挟み訓練、温パック（肩・腰・腹部・大腿部・下腿など）マシン：エアロバイク、上肢リハビリマシン。生活動作訓練：起居動作・移乗動作・移動動作訓練
▶個々のメニューを設定し、実施/評価行ない、状態の変化に合わせ内容を変更し実施しています。



徒手療法

関節モビライゼーション、ストレッチング
マッサージ、マイオチューニングアプローチ
（疼痛・筋緊張の抑制と筋力の活性化を促す）
徒手のリラクゼーション



作業療法

手指巧緻性維持訓練：手指は体の中でも運動や感覚の神経が多くあります。手指を動かすことにより、脳の血流量が増え、脳の活性化や認知機能の低下予防、運動機能を高める効果が期待できると言われています。
訓練内容：豆掴み、コイン返し、ボール掴み、地図パズル、折り紙、貼り絵、書道、フラワーアレンジメント、陶芸など

